

令和5年シラス曳網調査結果 (第12報)

令和5年11月7日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

11月2日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 28m)
141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 54m)

3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図1)

19.4°C~21.2°C

(2)シラス採捕数(図1)

1 定点あたり 492~4,384 尾 (合計 7,820 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(10月18日、340~2,576尾、合計5,860尾)と比較し、増加しました。

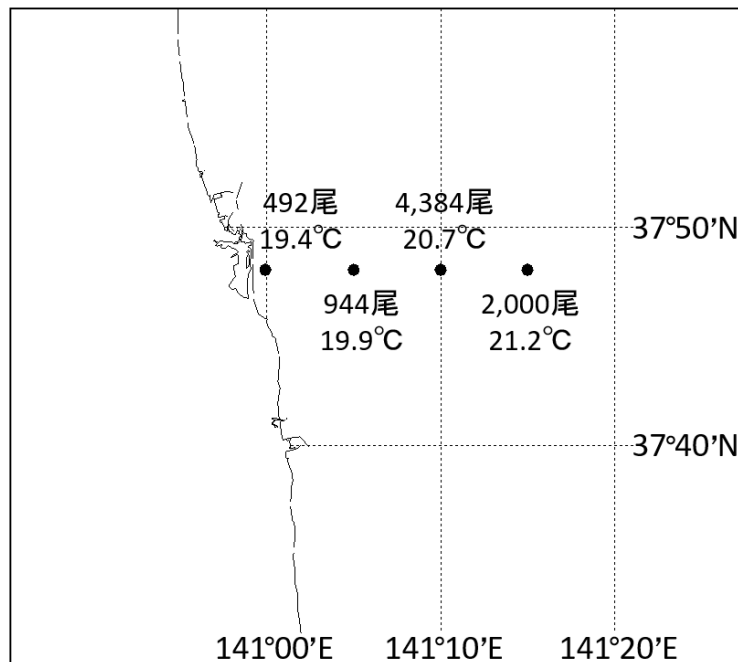


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：7.1～38.2mm(モード：10.0～12.0mm)

10mm 前後の群、15mm 前後の群、30mm 前後の群の3つの群で構成されています。

141-00E では 20mm 前後、30mm 前後の2つの群、141-05E では 15mm 前後、30mm 前後の2つの群、141-10E では 10mm 前後の群、141-15E では 10mm 前後、15mm 前後の2つの群のシラスで構成されていました。

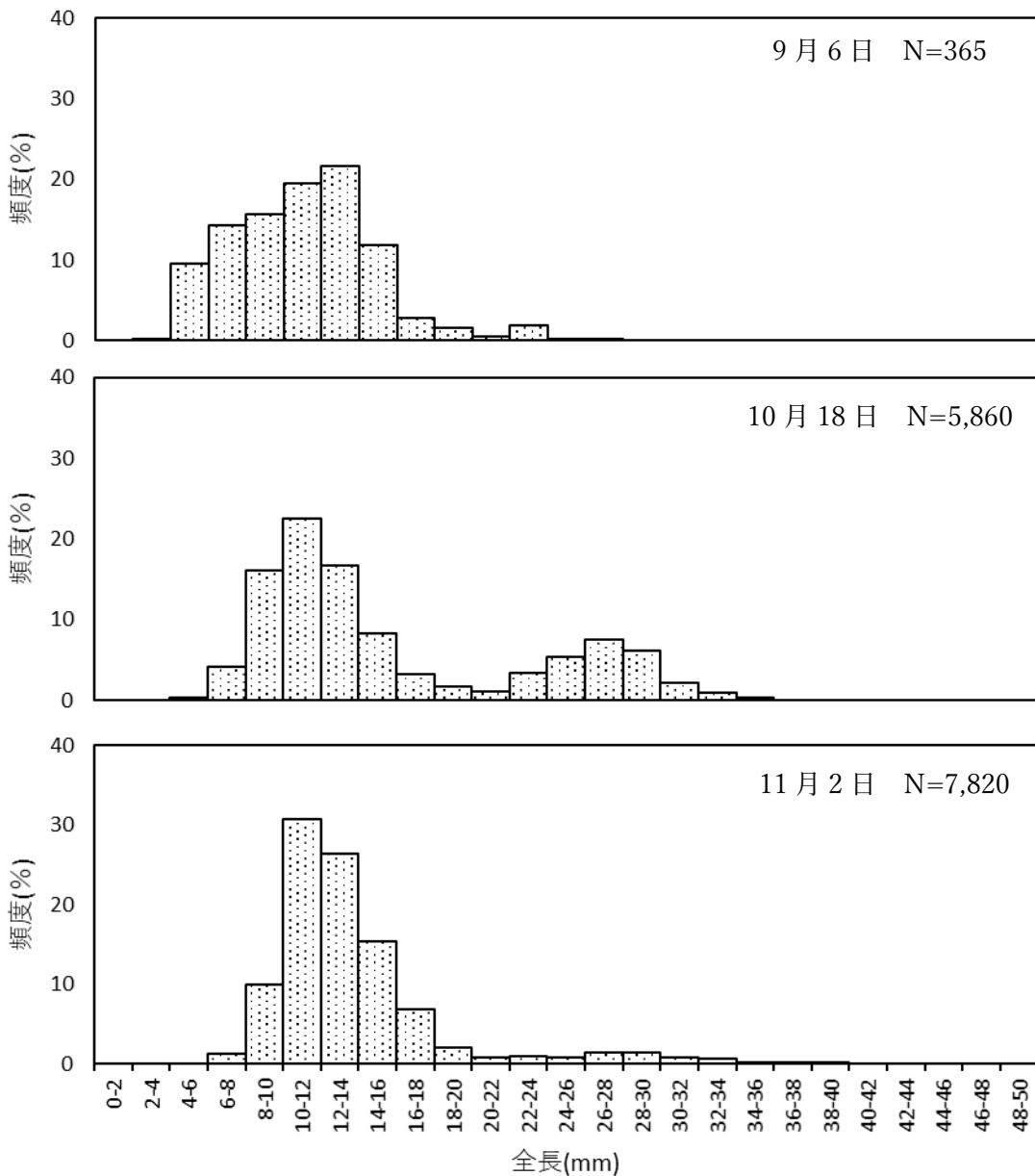


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3)

令和5年11月のシラス採捕数は平成18年以降で最も多い結果となりました(図3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

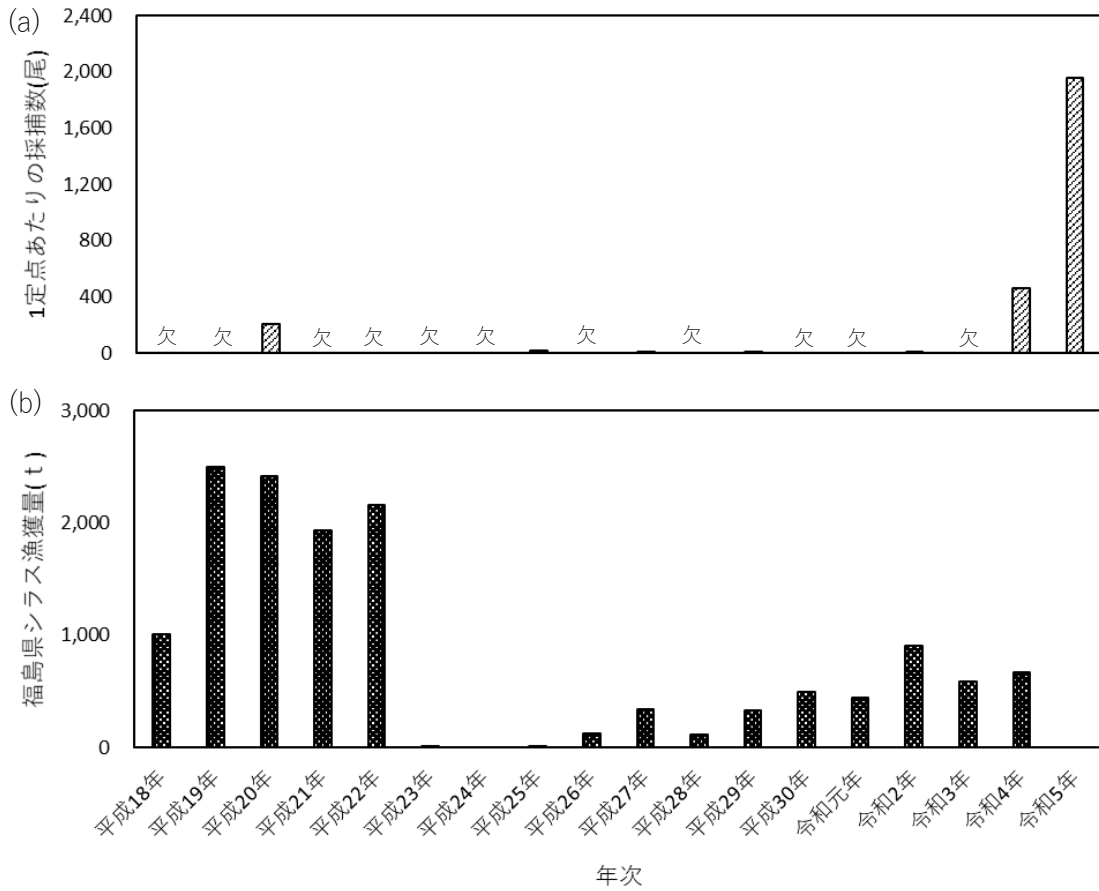


図3 (a)相馬海域における11月の1定点あたりの採捕数
(b)福島県の年別シラス漁獲量